

科 目 名	言語文化	単 位 数	2 単位	学 科 ・ 学 年	全 科	1 年																																																						
使用教科書	高等学校 新編 言語文化	東京書籍	副 教 材 等	常用漢字ダブルクリア 四訂版																																																								
学 習 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①知識及び技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ②思考力、判断力、表現力等 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③学びに向かう力 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																																																											
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table><tr><td>① 知識・技能</td><td colspan="5">【言葉の特徴や使い方に関する事項】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。特徴的な語句の知識量を増やし、文や文章の中で使うこと。 【我が国の言語文化に関する事項】 古典の世界に親しみ、作品・文章の背景を知ること。古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</td></tr><tr><td>② 思考・判断・表現</td><td colspan="5">A 書くこと 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。</td></tr><tr><td>③ 主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとすること。また、その取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとすること。 生涯にわたって、読書の習慣を身につけ、言語に対する関心を持ち、課題解決への取り組みを行うこと。 言葉を通して他者や社会と関わろうとする努力を怠らないこと。</td></tr><tr><td></td><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td></td><td>学習状況の観察</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>出席状況・授業の準備</td></tr><tr><td></td><td>発表</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>発表、相互評価を含む</td></tr><tr><td></td><td>提出物</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>授業プリント・感想文・報告文</td></tr><tr><td></td><td>小テスト</td><td>◎</td><td>◎</td><td>○</td><td>小テスト（文法・語句・漢字など）</td></tr><tr><td></td><td>定期考査</td><td>◎</td><td>◎</td><td></td><td>年間5回</td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						① 知識・技能	【言葉の特徴や使い方に関する事項】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。特徴的な語句の知識量を増やし、文や文章の中で使うこと。 【我が国の言語文化に関する事項】 古典の世界に親しみ、作品・文章の背景を知ること。古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。					② 思考・判断・表現	A 書くこと 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。					③ 主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとすること。また、その取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとすること。 生涯にわたって、読書の習慣を身につけ、言語に対する関心を持ち、課題解決への取り組みを行うこと。 言葉を通して他者や社会と関わろうとする努力を怠らないこと。						評価方法\観点	①	②	③			学習状況の観察	○	○	◎	出席状況・授業の準備		発表	○	○	◎	発表、相互評価を含む		提出物	○	○	○	授業プリント・感想文・報告文		小テスト	◎	◎	○	小テスト（文法・語句・漢字など）		定期考査	◎	◎		年間5回
① 知識・技能	【言葉の特徴や使い方に関する事項】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。特徴的な語句の知識量を増やし、文や文章の中で使うこと。 【我が国の言語文化に関する事項】 古典の世界に親しみ、作品・文章の背景を知ること。古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。																																																											
② 思考・判断・表現	A 書くこと 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。																																																											
③ 主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとすること。また、その取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとすること。 生涯にわたって、読書の習慣を身につけ、言語に対する関心を持ち、課題解決への取り組みを行うこと。 言葉を通して他者や社会と関わろうとする努力を怠らないこと。																																																											
	評価方法\観点	①	②	③																																																								
	学習状況の観察	○	○	◎	出席状況・授業の準備																																																							
	発表	○	○	◎	発表、相互評価を含む																																																							
	提出物	○	○	○	授業プリント・感想文・報告文																																																							
	小テスト	◎	◎	○	小テスト（文法・語句・漢字など）																																																							
	定期考査	◎	◎		年間5回																																																							
履 修 上 意 の 注 意	この科目は高校国語分野の基礎となるものです。積極的に学ぶ態度をもって授業などに取り組み、予習復習をすることによって力を定着させましょう。漢字検定も校内で行っています。一年生から計画的に学習し、合格を目指しましょう。その他、不明な点はいつでも気軽に尋ねてください。																																																											

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4	随筆 「さくらさくらさくら」	5	・随筆の読み方を習得する。 ・日本独特の桜に関する感性について理解を深める。	・分かりにくい言葉、表現を辞書で調べている。 ・日本と外国での桜に対する感じ方の違いを理解しようとしている。
	5	古文入門 「古文に親しむ」「児のそら寝」	4	・歴史的仮名遣い、品詞、活用などの概念について理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を読み味わう。	・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解している。 ・内容や構成、展開など叙述を的確に捉え、話のおもしろさを読み取ろうとしている。
		「絵仏師良秀」	4	・用言の活用、係り結び、仮定条件と確定条件を理解する。 ・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読みとる。	・用言の活用、係り結び、仮定条件と確定条件を理解している。 ・単語や文法事項を的確に捉え、内容の展開など叙述に即して口語訳しようとしている。
	6	小説 「とんかつ」	5	・小説の読み方を習得する。 ・人間の邂逅と少年の成長を、自己の問題としてとらえる。	・場面の展開を意識し構成やあらすじを理解している。 ・登場人物のせりふや行動から心情を読み取ろうとしている。
		漢文の基本 「訓読の基本」	3	・漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てていけるようになる。 ・訓読のきまり、書き下し文のきまりを理解する。	・日常使う漢語・格言・故事成語の意味と用法とを漢和辞典で引いて調べている。 ・訓読のきまり、書き下し文のきまりを理解している。
	7	故事成語 「守株」「五十歩百歩」「借虎威」	3	・故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 ・漢文の基本的な知識および基本構造について理解する。	・故事成語のできた背景について理解しようとしている。 ・漢文の基本的な知識および基本構造について理解し、叙述に即して口語訳をしている。
2	9	詩歌 「冬が来た」「少年の日」 「I was born」	4	・近代詩、現代詩を読み味わう。 ・詩の構造、内容、特徴的な語句の意味や表現を理解する。	・全文を正しく音読し、リズムの特徴をつかみ、読み味わおうとしている。 ・詩の構造、内容、特徴的な語句の意味や表現を理解している。
	10	徒然草 「亀山殿の御池に」「奥山に猫またといふものありて」など	7	・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読みとる。 ・随筆を読み、人間、社会などに対する作者の思想や感情などを読み取る。	・単語や文法事項を的確に捉え、内容の展開など叙述に即して口語訳しようとしている。 ・教訓的章段を自らの体験に引きつけて読み味わおうとしている。
	11	小説 「羅生門」	8	・小説の読み方を習得する。 ・下人と老婆の人物像を的確に捉え、登場人物の性格、心理、行動を読み取る。	・場面の展開を意識し構成やあらすじを理解している。 ・下人の人物像を正しく理解し、登場人物のせりふや行動から心情を読み取ろうとしている。
	12	漢詩 「春暁」「黄鶴楼送孟浩然広陵」「涼州詞」「春望」など	7	・漢詩の決まりについて理解する。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのように詠まれているか考える。	・積極的に漢和辞典を使い、押韻、対句について理解している。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのように詠まれているか考えようとしている。
3	1	小説 「デューク」	6	・「私」の言動から、その心情の変化を読み取る。 ・死んだ愛犬と少年との類似を捉え、少年が表れた意味について考察する。	・登場人物の行動から心情の変化を正しく理解している。 ・死んだ愛犬と少年との類似を捉えさせ、少年が表れた意味について考察しようとしている。
	2	物語 「伊勢物語」	7	・文語の文法について理解し、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・平安時代の習俗について調べ、知識を深める。	・単語や文法事項を的確に捉え、内容の展開など叙述に即して口語訳をしている。 ・平安時代の習俗について調べ、内容を読み味わおうとしている。
		論語 「学ぶということ」「人間を見つめる」「政治を考える」	7	・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているのか考える。 ・漢文の基本的な知識および重要な句形について理解する。	・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているのか考えようとしている。 ・重要な句形の読み方と意味を理解している。